Vol. 38, September, 2013

AI通信

Atami association for International interchange

熱海国際交流協会

←国際理解講座にミャンマーからの留学生がやってきた！　民族舞踊も披露してくれました。

↓カンボジアの熱海さくら学校再訪の旅では、子どもたちとのふれあいがありました

←姉妹都市カスカイスの研修生が来熱しました！熱海ガイドクラブさんに力を貸していただいて、熱海市内の名所をぐるっと廻りました。

カスカイス　研修生による国際理解講座　2013/8/25

やって来ました。カスカイスから研修生が！　熱海の姉妹都市ポルトガルのカスカイス市から、文化交流研修生２名、観光研修生２名、市職員２名の計６名です。８月 20 日から 29 日まで市内の一般家庭にホームステイし、市内見学、華の舞・美術鑑賞、茶道、華道、書道、自然農法などの様々な日本文化を学び、ホテル研修、市役所研修などを体験した 10 日間でした。

４人の研修生は、カスカイス市の姉妹都市コンテストで日本の熱海を選んで研究発表をし、勝ち抜いた精鋭たちです。AI では 25 日を国際理解講座として、現在のカスカイス市の様子等をお話してもらいました。参加者は約 50 名です。

カスカイス市は首都リスボンから列車で西へ 35 分、コスタ･ド･ソル（太陽海岸）の西端に位置します。古くから漁師町でしたが、19 世紀に王家の避暑地になってから急激な変化を遂げ、今では有名なリゾートになっています。19 世紀の貴族の館が博物館になっています。

さてポルトガルとは？　皆さん大航海時代とか、カステラ、コンペイトウをはじめ日本語になった言葉があるなど、親しいイメージをお持ちでしょう。1999 年はザビエル来日 450 年、2010 年は修好 150 周年、そして今年は 1543 年の種子島への鉄砲伝来から 470 年ということで日ポ交流 470 周年の記念行事が行なわれています。輝かしい大航海時代、スペイン領、王政復古、軍事独裁という歴史を通り、1974 年４月 25 日に無血革命（カーネーション革命）が成功し、民主化が進められました。

市職員のペドロ・セラさんとジョアナ・ピカドさんの部署は青少年部といい、15 歳から 30 歳の青少年の自立を総合的に手助けしているそうです。

文化交流研修生のカルロタ・カルデイラさんは空手を通じて、アナ・モライスさんは「包む」という文化を通じてそれぞれ日本に興味をもち、熱海に関する研究発表をしたそうです。カルロタさんは映像文化を勉強している学生で、カスカイスの海岸線が熱海と似ていること、徳川家康が熱海の湯を江戸まで運ばせたことなど、両市の特色を対比させながら作った映像を披露してくれました。

大仁農場でそば打ち体験もさせていただきました

観光研修生のジョアン・アルヴェスさんは和食に興味があり、祖父のレストランの再開が夢だそうです。パウロ・リベイロさんは海、観光、スパ、魚などの共通点を挙げて、熱海のホテル・旅館の経営を学びたいと話してくれました。皆さんを送り出してくれたカスカイスの青少年交流プログラムと、受け入れてくれた熱海市民・職員・受け入れ家庭・プログラムを手助けしてくれたいろいろな団体に深い感謝の言葉を口にしていました。10 月にポルトガル旅行をするという方から、「ジョアンが勤めているレストランはどこか教えてください」などという質問が出るなど、和やかな雰囲気でした。最後に三田光行教育長が発表者に丁寧なエールを送り、閉会となりました。

皆さんの今後のご活躍をお祈りします。　　（AI　事業スタッフ　小林春子）

平成 25 年度理事会･総会　2013/5/16

熱海市役所４階Ａ・Ｂ会議室にて平成 25 年度総会が行なわれました。ご多忙中にもかかわらずご出席を賜りました 60 余名の皆様、本当にありがとうございました。今総会においては役員選挙が行なわれ、竹内敏郎会長他、全役員の再選が全会一致で決まりました。今年度は語学講座・子供向け国際理解講座・国際支援活動・外国人とのふれあいの集い等を計画しています。夏には姉妹都市であるポルトガル・カスカイス市から研修生を迎え、国際理解講座などを通して交流を深めてまいります。

また顧問の小山内美江子先生より、カンボジア支援に関する貴重なお話を賜りました。先生が支援を始められた約 20 年前に比べ現在の環境は改善されているものの、まだまだゴールは遠い、皆さんも我々の取組みにご賛同いただくと同時に、アジア全体への理解をいっそう深めていただきたい、とのお話でした。当協会の活動には市民の皆様のご理解・ご協力が不可欠です。さらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

←総会後、協会の役員と事業スタッフの皆さんでパチリ

メーボン小学校（熱海さくら学校）プロジェクトは細く・長く続けましょう

2013/3/24-3/29　カンボジア訪問

メーボン小学校・中学校の皆さん　チョムリアップ・スオ（おはようございます）。本年３月に実施された第２回訪問の旅は６名と小規模であったが、先生・生徒と直接挨拶、握手。まさしくお互いに友達・兄弟・姉妹というスキンシップを実感した友情の旅でした。齊藤市長よりお預かりした 600 枚のＴシャツも早速着用してくれ、よろこばれました。私たちが植樹した桜も細く高くのび、一輪花を咲かせて居ました。今後も機会をみて訪問、細く、長くこの国際援助プログラムを継続していきましょう。

幸せの子どもの家（児童擁護施設）で、子どもたちと絵を描いて交流

↑学校の贈呈式で記念植樹したタイ桜が、一輪花をつけていました。

お互いに描いた絵は交換、今も寝室に飾って居ます。近い将来、人物交流プログラム実施も夢ではありません。熱海国際交流協会会員の一人一人がこのプロジェクトの主役の意識と責任感を以って継続しましょう。皆さんのご健康、ご活躍をカナダロッキーのふもとで祈って居ます。（会長　竹内敏郎）

※　当協会ではJHP・学校をつくる会を通じ、2011年12月にカンボジアのプレイベン県のメーボン小中学校に校舎（愛称：熱海さくら学校）を１棟寄贈しました。今年３月には、会員の希望者が同学校を再訪しました。今後も学用品など必要なものを贈り続ける予定です。

校舎の前に集まり、用意した支援物資（学用品）を手にする子どもたち

外国籍市民のための防災講座 2013/3/7

市在住外国人の防災の意識を高め情報交換の場を提供するため、熱海市防災室（現・危機管理課）の協力を得て防災ミニ講習会を開催しました。フィリピン、ペルー、コロンビア、ブラジル、ドイツの出身者10人が参加しました。地震のない国から来た外国人も多いため、地震や津波についての基本的なことや、熱海で想定される地震災害、普段からの備えなどについて話を聞きました。

参加者は真剣そのもの。日本人にとっては子どもの頃から知っている常識でも、お国が違うと様子が違います。津波は揺れてからどのくらいの時間でやってくるのか、など活発に質問をしていました。

広報あたみの放送が聞こえにくいという方に対しては、携帯電話にメールで同じ内容が受信できる登録をしてあげ、これくらいの規模の講習だときめ細かな対応ができると実感。

当協会では、外国人のグループのためこうした講習会を今後も開催したいと考えています。数人のお友達が集まれば、自宅の近くやお子さん連れでも参加できるよう出張開催しますので、ぜひご相談ください。

～ミャンマーの国際理解講座に参加して～2013/2/13

ミャンマーと聞くと民主化闘士アウンサン・スーチーさんの名前が真っ先に浮かび、同時にシルバー世代の私は映画「ビルマの竪琴」の事を思い浮かべます。親日的な仏教国という印象ですが詳しくは知らない国です。今年になり今後の経済交流を睨んで日本から空路直行便が開設されたとの報道がありました。

そんなミャンマーの国の様子を、静岡県内の大学で学んでいる若い男女二人の留学生・モーモーサンさんとワイモンチョーさんが、民族舞踊も交えて紹介してくれました。

国の人口は６千万人で 150 以上もの民族が７つの州に分かれて暮らす多民族連邦国家であることや、昔の国名ビルマは最大の民族の名称であることなどは初めて知りました。仏教徒が 100%の国かと思っていましたが約 85%だそうで、他にキリスト教徒、回教徒などの人がいるとの話は意外な印象を受けました。

民族衣装（筒状に縫ったロングスカートのようなもの）もはいて見せてくれました

インド、中国、タイといった周りの大国の影響が社会・文化・経済と多方面に及ぼし、手を使って食事すること、牛はあまり食べないことなどはインドの影響。又、旧正月にお祝いするのは中国の影響のようです。経済面では昔から華僑の影響が強く、今でも中国との交易が最大です。これからは日本に期待しますと語ってくれました。

政治的な側面もあり微妙な質問かと懸念しつつ尋ねた新旧ビルマの国旗のデザインに対する見解には、「なじみのある昔の方が良いと言う人が多い」とさらりと答えてくれました。しなやかに思考し、ストレートに国の将来を見つめ、日本で学んだ事は国の発展の為に生かしたいと語る若い留学生の姿に感銘を受けました。彼らとその国の未来に声援を送りたいと思いました。

春、雨期、乾期と３つの季節の中で 10 月～２月の乾期が観光にはベストだそうです。一度訪ねてみたいとの思いを抱いた、すてきな留学生による祖国紹介の国際理解講座でした。

（AI 会員　広井治夫）

スリランカへ眼鏡・アフリカへ毛布・ペルーへ楽器

上宿町の誓欣院　前住職　長田順海さんが、スリランカで眼鏡を買うことができず困っている人のために檀家や地域住民の協力を得て眼鏡を集め、スリランカへ自ら届けたことが始まりです。４月初めに、会員や市民の皆さまからお預かりした眼鏡 580 個を、事業スタッフが洗浄しタオルできれいに拭いて梱包し、長田明頼ご住職へ届けました。

「アフリカへ毛布を送る運動」は４月１日～５月 21 日までに 20 枚集まり、海外輸送協力金は 10,000 円でした。アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会を通じてアフリカ諸国の人々へ届けられます。ご協力、ありがとうございました。

ペルーの小学校等へも楽器（不要なリコーダーやピアニカなど）を贈っています。ご家庭に眠っている楽器がありましたら、ご協力をお願いいたします（詳しくは事務局までお問い合わせください）。

「伊豆の桜を被災地へ　～復興祈念植樹～」へのご協力をお願いします

宮城県南三陸町に、５年計画で伊豆の桜の苗木を植えています。JHP･学校をつくる会三島支部が始めたこの運動に当協会も賛同し、三島桜や河津桜と一緒に今年 11 月にあたみ桜も現地に届けようと計画しています。

実は私も、２月４～５日にリーダーの山岡修一さんに、現地まで連れて行っていただきました。震災から２年近くが経って、壊れた建物や瓦礫が撤去され、潮をかぶり立ち枯れた樹木の伐採などが進んでいました。海岸線を車で通ると、写真で見た戦後の焼け野原のように「何も無い」光景が続き、言葉を失いました。

住民の皆さんは生活再建のためとてもがんばっていらっしゃいます。漁師さんたちは、数少なくなった船を皆で使って漁をしています。そんな漁師さんたちが、「海から戻るときに家の周りに桜が見えたら嬉しいだろうから、うちの集落にも桜を植えてくれ」と言っていました。震災後 30 回以上も現地を訪れていて、「今だからこそ、心の支えになる何かが必要」と言う山岡さんは、住民の皆さんの信頼を得ていました。

当協会会員による植樹＆視察ツアーは平成 25 年 11 月１～２日です。あたみ桜の苗木は南三陸町デイサービスセンターまたは町営キャンプ場に植える予定です。苗木・植樹費用がもう少し必要ですので、ご協力をお願いいたします。ご寄付は一口 1,000 円から、何口でも結構です。　（AI 事務局）

ファドコンサート「熱海」

熱海国際交流協会　平成 25 年度第 2 回国際理解講座

ファドは 2011 年に世界無形文化遺産にも選ばれました。カスカイス市との姉妹都市・熱海で、日ポ友好 470 周年を記念したチャリティーコンサートを開催します。普段は東京や大阪で活躍するアーティストが熱海に集結します！

◎　**2013 年 09 月 29 日（日）　15：00 開演**

◎　**起雲閣 音楽サロン　熱海市昭和町 4-2**

◎　**チケット　2500 円**（チケットの売り上げの一部が熱海国際交流協会によりチャリティーとして利用されます）

出演：高柳卓也（Fadista：歌手）三木麻衣子（Fadista：歌手）月本一史（Guitarra：ポルトガルギター）小川皓史（Viola：ギター）伊代田大樹（Baixo：ウッドベース）

◎　チケットのご購入・お問い合わせは下記まで：
熱海市役所生涯学習課内 熱海国際交流協会（電話：0557-86-6233　FAX：0557-86-6606）

主催：熱海国際交流協会　企画：M.T.E.C　-ポルトガル文化を中心とした企画と実践-

後援：在日ポルトガル大使館 一般社団法人日本ポルトガル協会

ペルーの定番料理をご紹介！
簡単！おいしい！

アボカドのオードブル

材料：２人前
アボカド　１個
セロリ　30ｇ
マヨネーズ　大さじ１
塩コショウ　適量
レモン汁　10ｇ

①セロリはみじん切りにしてボウルに入れ、ツナ・マヨネーズとよくからめ、混ぜておきます。
②アボカドは種に当たるまで包丁を入れ、グルッと一回転させます。ねじるとボロッと種が外れます。
③アボカドにレモン汁と塩コショウをかけます。①のツナ・マヨネーズを乗せれば出来上がり！

法人会員紹介　多賀観光協会　様

会長の富岡さんが、お忙しいのに長時間、熱く語ってくださいました。

連日来の雨もこの日ばかりは止み、目の前は太平洋、後ろには緑濃い段々畑に囲まれた絶好のロケーションの観光協会事務所の外のテラスで、協会長の富岡篤美氏にお話を伺うことができました。

多賀といえば、長浜海水浴場、土日の特設市、夏の百八体流灯祭、ワカメ祭りやイカメンチなど色々なイベントで広く知られています。協会が拠点としさまざまなイベントを仕掛けている長浜海浜公園は、135 号線沿いの広大な土地にあるというメリットもあり、地元のグルメが集まるながはま特設市は毎週賑わいを見せています。多くの旅行者が素通りせず立ち寄っていくようで、海産物・農産物など毎回完売という嬉しい状況が続いています。フリーマーケット、子供のフラダンス等も人気を博すなど、将来の発展が楽しみなイベントがいろいろ催されています。

私は東京から転居してきたため、観光協会というと熱海中心部と同じように考えがちでしたが、実は多賀特有の地域性があり、それにうまく順応しながら運営されています。もともと多賀は神社を中心に農業（主力は柑橘類）を営む住民の多い地域でした。現在はこうした一次産業に従事する「兼業農家」が一割程度で、多くの方が多賀地区の外で働き、いわゆるベッドタウンとなっているようです。

そのため、ただ観光客を増やせばいいというわけではなく、夜 9 時以降に照明を灯すときは事前に地域に知らせる、くじ引き付きのチラシを配り地元の人に足を運んでもらう、学校行事（駅伝、運動会）に利用してもらうなど、地元に配慮をしながら運営しています。近頃ゲームソフト等屋内で過ごしがちな子供たちに、大自然の中で日本に昔から伝わる遊びの醍醐味を知ってもらうようなイベントも実施しているそうです。

お盆の百八体かがり火

前述の「地場産野菜」の直売では、協会が売る場を提供することで、生産者（多賀は規模の小さな兼業農家が多い）と購入者の間に交流が生まれています。買う側も安心・新鮮な野菜を安く買うことができ、生産者は売れることで商売に対し前向きになり、一生懸命作るようになっています。

私ども熱海国際交流協会としても。手をたずさえて活動できる分野がありそうです。例えば海と山に囲まれた大自然の中で子供英語教室を、皆が手で触れ体で感じるアート展を、広い芝生広場を活用して開催できればなんと素敵でしょうね。

（事業スタッフ　阿部伸子）

ペルーの食材を、スペイン式の調理法で料理するのがペルースタイル。

アンデス山脈が様々な、珍しい食材をつくります。最近では、健康料理であることも知られてきて、食文化の独自性が認められてきました。

親戚を訪問した際に、そんなペルーの家庭料理をご馳走になりました。（熱海市　高橋　正）

市内の外国籍住民の数は345人です

2013.7.31 現在

1	中国	95 人
2	韓国・北朝鮮	84 人
3	フィリピン	65 人
4	ブラジル	27 人
5	アメリカ合衆国	17 人
6	ペルー	9 人
7	台湾	7 人
8	タイ	6 人
9	オーストラリア	5 人
10	ネパール	4 人
人数がそれ以下の国の計		26 人

発行：　熱海国際交流協会
熱海市中央町１番１号　熱海市教育委員会生涯学習課内（第２庁舎２階）
電話 0557-86-6233
Eメールkokusai@atami-ai.jp
ホームページ　http://atami-ai.jp

当協会では会員を募集しています。熱海に住む外国籍住民や姉妹都市の方々との交流に興味のある方、国際支援に関心のある方など、上記の事務局までお問い合わせください。

海外こぼれ話～ハワイのもてなし「レイ」について

ハワイに行かれたことのある方は、空港やホテルに着いたときに「ALOHA！」の言葉とともにレイを掛けてもらったことがあると思います。これは、形式的なサービスではなく、ハワイならではの歓迎の表現です。ハワイでは今日、レイを日常的なプレゼントとしても使用していますが、誕生日や卒業式・結婚式といったイベント毎にレイを贈る風習があります。

元来、自然界にあるものをレイのような飾りとして用いる風習は、南太平洋や東南アジア・台湾などの先住民の文化にも見られました。ネイティブ・ハワイアンの祖先が太平洋の島々からやってきたポリネシアン系の人々であったとすると、レイは環太平洋に広く共有される文化様式を受け継ぐものであると言えます。しかし、ハワイの場合は、13 世紀頃を境に南太平洋の島々との交流が途絶えてしまい、18 世紀後半にジェームス・クックが訪れるまで約 500 年に渡り外界との関係を持たなかったため、その過程でフラをはじめとする南太平洋起源の諸文化が独自の発展を遂げて行ったと考えられます。

フラを構成するのは、歌や音楽・踊りだけではありません。フラを踊る際、ハワイの人々は歌や土地に合わせた衣装や小物を身にまといますが、身を飾る花々や楽器、場所、衣装なども重要な要素で、それぞれ深い意味があります。

レイもこうしたハワイ文化の一つです。「レイ」という言葉は、今日、英語や日本語でも広く使われていますが、もともとはハワイ語で、首飾り一般を指す言葉です。

これほどハワイに広く普及しているレイとは、そもそも何を意味するのでしょうか。はるか昔、プナの海岸での出来事と言われている神話の中で、癒しの女神・ヒイアカが、火山を思わせる赤いレフアの花飾りを姉のペレに捧げました。この神話から、ハワイの人々の間に、レイを贈る習慣が誕生したと言われており、今日まで、レイは神々への供え物とされてきました。

レイは、現代では“感謝”や“愛情”の表現として用いられています。レイが輪になっているのは、「ALOHA」の心が永遠に続きますようにという願いが込められているからです。

（AI 会員　Nikki）